

## つくる、つくりよう通信



陣内やすこ

八王子市議会議員・無所属市民派

少子・高齢化特別委員会委員長

北野台在住



編集／発行：市民自治の会(陣内やすこ)

〒192-0912 東京都八王子市絹ヶ丘2-11-7 TEL 042-636-8158 FAX 042-636-8640

E-mail [jinnaiya@mbk.nifty.com](mailto:jinnaiya@mbk.nifty.com) URL <http://jinnai.ne.jp/>

## しっかりしてよ！ 教育委員会 その①

## 特別支援教育

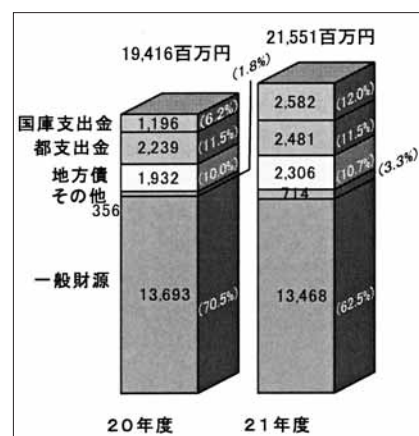
第3回定例議会一般質問で、教育施策について問題提起しました。

市は2010年度からメンタルサポーターと特別支援サポーターを統合して、一本化。しかし学校に配分される予算は、4100万円と、昨年の9割程度に減額となっています(現場の声では、8割程度に減っているというもの)。これでは一校あたり、単純に計算しても41万円程度。文部科学省が特別支援教育支援員費として地方交付税(基準財政需要額)で見ている、一校あたり約126万円程度という金額の3分の1にも満たない額です。しかも、決算で、2009年度の学校からの特別支援サポーターへの要請に対して、68%程度しか予算措置されていないということも明らかに。特別支援教育が喫緊の課題といたしつつも、それを充実させる仕組みが出来ていないし、予算も充当されていない、ということがわかりました。

## 学校配分特別支援関係費

2009年度	→	2010年度
約4600万円		約4100万円

教育費の財源別内訳



(八王子市財政白書H22年度版より)

教育費の総額は増えているが、一般会計からの配分が減っている。

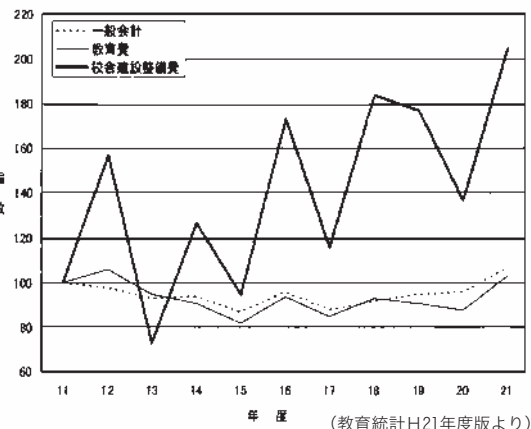


陣内やすこは訴えます！

## ■2009年度決算認定に対する陣内やすこの意見(否認定)

なんといっても教育費が少ない。しかも少ない教育費のなかで、ハード(建設費)に占める割合が大きい。特に2009年度は、国の補正予算で、スクールニューディール事業の一環として、パソコンの整備や地域活性化・経済危機対策臨時交付金の活用で、武道場の建設が行われた。耐震化・IT推進等も重要課題であるが、前倒しでやる予算が捻出できるなら、人につける予算の獲得もあって当然だろう。特別支援教育や就学援助へのまなざしが欠けていることは、教育は人づくり、という教育の本質を見失っているのではないだろうか。

教育費の変遷(平成11年度を100として)



(教育統計H21年度版より)

# 第3回定例議会 開催されました

(2010. 9. 8 ~ 2010. 10. 15)

一般質問より

## しっかりしてよ！ 教育委員会 その②

### 学校図書館サポート

学校図書館サポート担当として、司書資格を持つ人員が2名配置(◎)。しかし、学校図書館サポートセンターの設置ではない。しかも、支援計画がきちんと出来ていないということも明らかになりました。以前からずっと求めている学校図書館実態調査、やっと今年度実施が表明されました。また、読書のまち八王子推進計画では、5年後を見通して学校図書館の活性化・充実が計画されているのに、教育委員会としては、5年間かけて、小中学校を巡回指導というもので、「このずれはなんだ？」と質問。返ってきた答えは次のとおりです。



**指導担当部長**：読書のまち八王子推進計画が掲げる、いつでも、どこでも、だれでも読書に親しめる環境を推進していく上では、児童・生徒が学校図書館を有効に活用できるように環境整備をすることが重要。これは学校図書館サポート事業の狙いと合致します。

### 学校図書館法

学校図書館とは、学校教育に必要な資料を収集し、整理し、および保存し、これを見学または生徒および教員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童または生徒の健全な教養を育成することを目的とする。



：学校図書館法にかかれてあります学校図書館の目的を再度熟読していただきたい。読書の環境を広げることが学校図書館の役割でないことがきちんと書かれています。

### 八王子市学校図書館活性化・充実への流れ

- ・学校図書館の環境改善
- ・学校図書館読書指導員の拡充
- ・学校図書館サポートセンターの開設

- ・全校の図書分類の統一化
- ・読書指導員の相談機能の確立

- ・学校図書館の水平のネットワーク確立
- ・学校図書システムの導入・データベース化

- ・図書購入費の充実
- ・学校図書の円滑な物流
- ・スタッフの配置の推進

- ・学校図書館の活性化・充実
- ・学校図書館サポートセンター機能の充実

構築期

拡張期

充実期

(第2次読書のまち八王子推進計画より)

### 絹の道

大好きな絹の道を歩きました。ところが…

絹の道は市の文化財指定になっています。また、文化庁の「歴史の道百選」になって、往時の面影を残しています。大塚山からの1.5キロメートルは、気持ちのいい大好きな道です。絹の道資料館が出来てちょうど20年。久しぶりに歩いてみると、途中で違法建築物があったり、なんと、資料館脇に青い鉄板で囲われた自動車解体工事現場が出現していました。驚きました。市に問い合わせしてみると、道は文化財指定になっているけれど、道脇に対する規制は何もないとのこと。もうじき出来る景観条例によっても規制できないとのことでした。なんとかならないのか。絹の道商人が泣いているよ。



決算質疑より

# しっかりしてよ！ 教育委員会 その③

## 「子どもの貧困」への対応

経済困窮など家庭的・社会的困難な状況にある子どもへの支援として、ソーシャルワーカーが2名、今年度から配置されました(◎)。

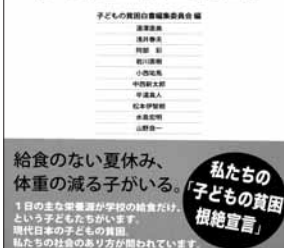
しかし、2009年度の決算では、就学援助費が予算額を下回って、残を出してしまっているのです。その一方で、所得が認定基準をこえていることによって、1127人もの否認定者が出ていることはみすごせません。支給方法、支援金額、認定方法、認定基準など、実情に応じた、もっときめ細かい対応が必要なことはいまでもありません。また、経済的理由によって、学校を長期欠席の児童・生徒がいるということは、あってはならないことです。そういった作業をおこなうことなく、担当部署として、就学援助事業の優先度が下から2番目という低さ。かつ、認定基準は妥当という判断をしていることは、子どもの貧困や学習のための条件整備に対し、暖かなまなざしが欠けているということではないでしょうか。監査等で指摘されている、経済的困窮による給食費未納者への救済のための制度周知も徹底されていません。制度の周知によって、滞納がかさむ前に、何らかの対応や制度へつなぐことが求められているにもかかわらず、努力のあとが見られないのは残念です。財政事情が厳しいから、というのは理由にならない。市税収入が大きく落ち込むということは、それだけ市民生活が厳しく、子どもたちも巻き込まれているからこそ、迅速な対応が求められているのです。子どもたちに罪はない。

子どもたちの希望を奪わないでほしい。

暖かくないんだよな。これが、子どもの教育・健全育成を担当する部署とは情けない。

教育ってハートがなければ出来ないのではないのかしら。

## 子どもの貧困白書



(明石書店刊)

## 子宮頸がん豆知識 Q&A

子宮頸がんワクチン推進を含む、子宮頸がん予防を求める意見書が全会一致で採択されました。でも、これだけは押さえておこう。

Q 最近、子宮頸がんの予防について、よく記事を読みます。

A 子宮頸がんは、がん化していく経過がわかっている、予防の出来る唯一のがんなんです。

Q ふーん、すごいね。いま、20歳代、30歳代の女性に子宮頸がんが増えているといわれているけど、ワクチンの効果は？

A 子宮頸がんは性行為によって、ヒトパピローマウイルス（HPV）に感染して起こる病気なんですけど、9割の人が自己免疫で陰性にしているんだよ。約1割の人に、感染の継続が見られるのだけど、そのうちの、これまた5%程度のヒトが、前がん状態になるといわれている。この段階で発見されれば、簡単な手術で、除去できるんだよ。除去できなくても、子宮頸がんになるまでには、さらに5年から10年近い年月がかかるんだよ。このHPVは、ごくありふれたウイルスで、性行為によって、女性の子宮頸部にもたらされるんだけど、女性の75%程度の方は、一生のうち、一度は感染したことがあるというものです。すでに性体験がありHPV陽性の人にとって、ワクチン接種はこれ以上の感染をブロックできても、除去は出来ません。だから、細胞診とともにHPV検査が重要なんだよ。

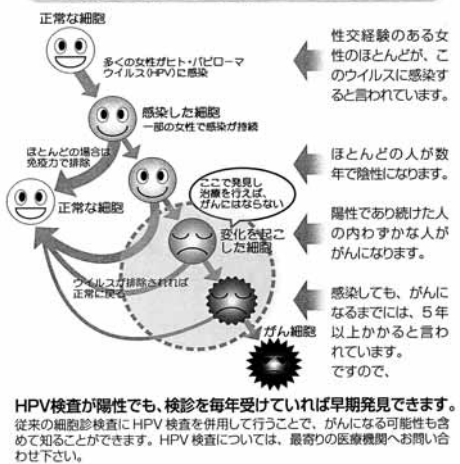
Q 子宮頸がんワクチンを小学生高学年から中学生の女子に接種することを推奨する理由と注意点は何か。

A 性交渉を持っていないだろうこの年齢の女子にワクチンを接種することで、HPV感染をブロックすることができます。でも、性感染症なのでしっかりと性教育、ならびに望まない妊娠を避けるための方策や性と健康に関する自己決定権の保障がなんといっても大事だね。ワクチンの副作用および持続期間など、わからないことも多いので、情報提供が必要です。

## 子宮頸がんとはHPV

子宮頸がんには、HPV(ヒトパピローマウイルス)が関与しています。

### 正常な細胞が子宮頸がんになるまで



HPV検査が陽性でも、検診を毎年受けていれば早期発見できます。従来の細胞診検査にHPV検査を併用して行うことで、がんになる可能性も高めて知ることができます。HPV検査については、最寄りの医療機関へお問い合わせ下さい。

(島根県健康福祉部健康推進課パンフレットより)



## 陣内やすこの活動日誌

- 7月1日 放課後算数教室 (見学・手伝い)
- 7日 カサドチェロコンサート in サントリーホール
- 11日 参議院議員選挙
- 12日 手をつなぐ女性の会 運営委員会
- 14日 教育委員会傍聴
- 16日 少子・高齢化対策特別委員会
- 17日 市民政策研究会
- 20日 議会基本条例等検討委員会  
障がい者差別禁止条例勉強会
- 21日 「風の丘」見学会
- 22日 ごみ問題の出前講座 (分別変更について)  
(in みんなの居場所)
- 27日-28日 少子・高齢化対策特別委員会視察 (富山)
- 29日-30日 三多摩議員ネット夏合宿 (小菅村)
- 31日 花火大会 (八王子)
- 8月1日 地域包括支援センターヒヤリング調査①
- 4日 地域包括支援センターヒヤリング調査②
- 6日 反戦座り込み 駅前集会
- 6日-8日 八王子まつり
- 7日-8日 全国フェミニスト議員連盟夏合宿 in 函館
- 9日 北海道伊達市障がい者施設視察
- 10日 地域包括支援センターヒヤリング調査③
- 14日-15日 地区お祭り
- 16日 電話相談
- 24日 総務企画・厚生委員会
- 25日 文教経済・都市環境委員会
- 28日 地区お祭り 電磁波問題勉強会
- 29日 ヌエックフォーラム
- 30日 会派代表者会  
議会基本条例等検討委員会
- 9月1日 定例議会招集日  
一般質問締切
- 6日 医療と介護の明日を考える講演会  
(講師: 医療法人永生会理事長 安藤高夫さん)
- 8日-10日 一般質問  
(※傍聴をありがとうございました)
- 11日 介護勉強会
- 12日 ごみ分別説明会 (in 自治会館)
- 13日 一般質問
- 14日 本会議
- 15日 総務企画・厚生委員会 社会福祉法人との懇談会
- 16日 文教経済・都市環境委員会
- 17日 パステル運営委員会 決算書類証拠閲覧  
公契約条例勉強会
- 18日 「児童虐待と子ども家庭支援」  
パネルディスカッション 市民政策研究会
- 19日 電磁波問題を考えるネットワーク設立会議
- 21日 決算書類証拠閲覧 介護勉強会
- 22日 決算総括質疑通告締切  
手をつなぐ女性の会 運営委員会
- 23日 障がい者の権利条例を考える会講演会  
(講師: 前千葉県知事堂本暁子さん)
- 24日 陣内やすこと明日の八王子をつくる会 総会  
高齢者プロジェクト
- 27日 本会議
- 28日 本会議 決算特別委員会
- 30日 決算総括質疑

### 地域包括支援センターヒヤリング調査①②③

少子・高齢化対策特別委員会のメンバー9名が、2人一組になって、市内12ヶ所の地域包括支援センターを訪問。あらかじめ作っておいた統一アンケートに基づき、ヒヤリングをおこなった。議員がそれぞれの党派を超えて、委員会としてまとまった行動をおこなうという画期的な試み。これから、分析作業に入ります。

高齢者問題、介護保険制度の課題は大きい。また、制度設計もかなり複雑でわかりにくい。地域の高齢者の実態を把握する必要があるということから、おこなったものです。着実な成果に結びつけていきたいです。

## インフォメーション

八王子平和強化月間2010参加企画: みんなの居場所・高齢者プロジェクト

老いてもその人らしく過ごせる場所がある。  
ご一緒にそんな場所を映画で訪ねてみませんか!

上映会



介護保険制度導入から10年 映画でみつめる介護の現在

10月31日 (日) 14時~16時

会場: 八王子市クリエイトホール 11F  
視聴覚室 (定員72名)  
JR八王子駅北口徒歩2分

参加費: 500円

お問い合わせ先: 八王子市絹ヶ丘  
2-11-7

みんなの居場所 (担当: 伊藤 月・木)

電話: 042-636-8158

FAX: 042-636-8640

メール: jinnaiya@mbk.nifty.com

(陣内)

それぞれの居場所



誰もが安心して地域で暮らせる  
まちづくりにむけて  
がんばりましょう

※堂本さんは大学の先輩。  
頼もしかったです。



(ぶどう社刊)

## 編集後記

暑い、暑い夏が終わったと思ったら、一挙に涼しくなりました。この変化に体がついていけない。気候の変動と呼応しているのか、世の中もあわただしい動きでいっぱいです。どうなっているの、民主党! といいたいところです。でも、だからといって、政権交代以前がよかったわけではない。政権交代で、明るみに出てきたことはいっぱいあります。国の政治の影響は、地方にも影響しますが、自治体の本務は、住民の福祉の向上。私たちの生活に政治って、深くかかわっているんだ、といえるように、一つ一つ丁寧に、施策実現に向けてがんばっていきます。  
あなたの声を、あなたと一緒に、あなただけの問題でないから、仕組みづくりに力をつくします。(や)